



# 岐阜北週報

11月 ロータリー財団月間

□ 題 字	永瀬 章	□ 会 長	永瀬 章	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	前田 吉彦	2017-2018
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	西垣 康紀	No.1699
		会報委員長	安藤 重広	17.11.29発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1698 回 例会 11/15 (水) 卓話 (3) コミュニケーションをテクノロジーで支える 講師：渡辺 暁典 様 担当：森本・井戸 会員	第 1699 回 例会 11/29 (水) 卓話 (4) 100万\$  担当：松野・臼井 会員	第 1700 回 例会 12/6 (水) 慶祝行事 クラブフォーラム (6)  担当：職業奉仕委員会

## 会長挨拶



先日、岐阜北ロータリーカップ2017バレーボール大会4年生の部の決勝戦の応援に行ってきました。青少年奉仕委員会の榊原委員長をはじめ、岡田（一）、山口さん応援ありがとうございました。

今年で、27回目を迎える大会です。4年生大会というものの、実際は2年生であったり、また、5・6年生の大会に出場している子であったりの混成チームであります。どうしても、その技量にバラツキが出ますが、皆、一生懸命ボールに飛びついていきます。そのハツラツさや、ハッスルプレーには素晴らしいものがあり、手に汗にぎる、熱戦でした。

ミスをして上級生らしき選手が頭を撫ぜながら、ドンマイ・ドンマイとフォローしていました。日々の練習の成果だと思いました。若くて、キビキビしたプレーを見て元気をもらいました。

## 会長挨拶 続き

私自身、日々練習すれば、ゴルフ上手くなるかな？と思い、今後練習頑張ります。

## 出席報告

会員数：31名  
 出席数：23/31名  
 出席率：74.19%  
 欠席者：8名（出席免除6名 92%）  
 訪問者：渡辺 暁典 様

## ニコニコBOX（敬称略）

榊原 典夫：今日も元気で。

## 幹事報告事項（敬称略）

■若松学園より学園祭の協力に対する礼状が来ています。

## 例会行事

卓話  
 「コミュニケーションをテクノロジーが支える」  
 講師 渡辺 暁典 様

～今回お伝えしたいこと～

・重度障害者は、実は身近な問題です。  
 ALS（筋萎縮性側索硬化症）は遺伝でも感染でも生活習慣が原因でもありません。誰もがなる可能性があります。また、出産の事故、交

## 例会行事 続き

通事故などにより、急に家族が重度身体障害者になる場合もあります。

### ・重度障害者の生活について。

人工呼吸を装着すると、長生きができるようになります。しかし、病院にずっといることはできません。施設にも入所できません。生活の場は自宅となります。自宅では24時間の介護が必要となります。一番大変なのは、喀痰を吸引するという事です。そのため家族は休む暇すらなくなります。

### ・コミュニケーションについて。

人間のコミュニケーションは言語だけではありません。表情、身振り、行為（視線を合わせる）、気持ちなどを組み合わせてコミュニケーションをとっています。しかし、重度身体障害者になると、発語は奪われます。表情、身振りは奪われます。視線を合わせ、気持ちを組み合わせるだけでは伝えきれないです。それを補うのが「意思伝達装置」です。

### ・意思伝達装置

OriHimeeye (オリヒメアイ)

分身ロボット

OriHime (オリヒメ)

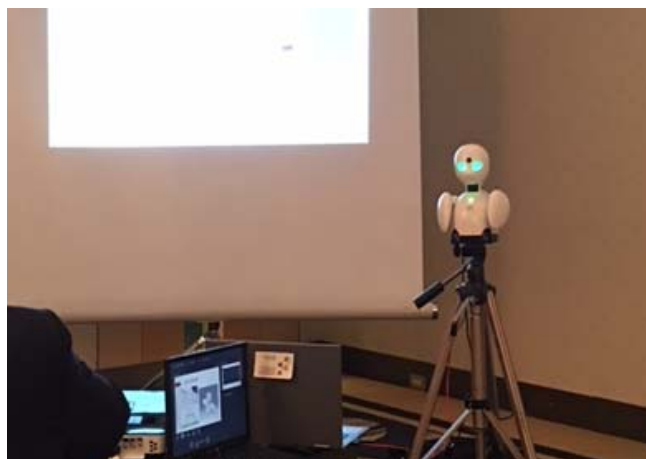
意思伝達装置OriHimeeyeは視線を感知して、文字を入力、読み上げをする機械です。ウィンドウズやロボット操作も視線で行うことができます。

分身ロボットOriHimeは、動けない、移動できない方がロボットの中に入るような感覚となって操作をすることができるロボットです。自分の分身として動いてもらうロボットです。

今回私は重度障害者の支援を通じて、自分自身の人生を好転することができたことをお伝えしたいと思います。重度障害者の方々は意思がないように誤解されたり、いつも暗く落ち込んで生活をしているように思われがちです。

しかし、身体を自由を奪われても心が自由ならなんでもできるということを、重度障害者の皆様より学びました。病気に人生を奪われない方法。そして、生産性だけが人の評価ではない、豊かな人生ってどんなことなのか。それをお伝えできればと思います。

## 例会風景



次回例会のご案内

第1700回 例会 12月6日(水)

慶祝行事

クラブフォーラム(6)

担当者：職業奉仕委員会

会報・広報 12月担当 川崎 賢二